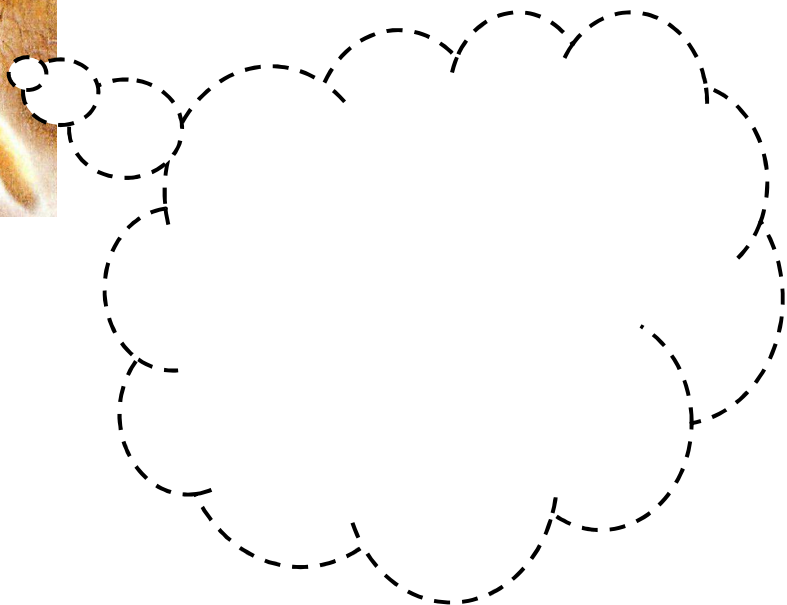


兵十

とてもふしぎなこと

「おつかあが死んでからは、だ
れだか知らんが、おれに、くり
や松たけなんかを、毎日、毎日、
くれるんだよ。」
「おれの知らんうちに置いてい
くんだ。」

だれがくりや松たけを置いて
いくのか（



加助

「神様のしわざだぞ。」

「・・・神様が、おまえがたった一人に
なったのを、あわれに思わっしやって、
いろんなものをめぐんでくださるんだ
よ。」

「そうだとも。だから、毎日、神様にお
礼を言うがいいよ。」

兵十

「えっ？」

「そうかなあ。」

「うん。」

